



楽しみながらも全力を尽くす選手たち

大人から子供まで熱戦繰り広げる

「スノードリーム 2014」猪苗代綱引大会

第 11 回「スノードリーム 2014」猪苗代綱引大会は 2 月 23 日、カメリーナで開かれました。一般男子、一般女子、一般男女混合とジュニアの 4 部門に合計 18 チーム、約 180 人が参加。町内からはジュニア以外の 3 部門に合わせて 9 チームが出場しました。参加した選手たちは、楽しみながらも真剣な表情で競技に挑み、熱戦を繰り広げました。会場には選手の家族などが応援に訪れ、選手たちに大きな声援を送りました。

世界トップレベルに触れる機会を

町内の小中学生などに W 杯観戦チケット贈呈

2014 F I S フリースタイルスキー W 杯福島猪苗代大会のチケット贈呈式は 2 月 17 日、猪苗代中で行われました。町内の子どもたちに大会を観戦してもらおうと、町内の複数の企業が費用を負担し、町が配布したもので、町内の小、中学生全員分の約 1200 枚が贈られました。前後町長は「子どもたちに観戦してもらい、大会を盛り上げてほしい」と話しました。チケットは富岡高サテライトがある猪苗代高にも配布されました。



酒井栄喜猪苗代小学校長(左)にチケットを手渡す前後町長

図書充実のために役立てて

町一般廃棄物協同組合が町に寄付

町一般廃棄物協同組合は 1 月 31 日、図書購入費として町に 10 万円分の図書カードを贈りました。贈呈式は同日、町役場で行われ、大友健市組合長が前後公町長と土屋重憲教育長に手渡しました。式には同組合理事の茂和泉裕一さん、佐藤八郎さん、遠藤光幸さんの 3 人も同席しました。同組合では図書の充実役に役立ててほしいと、毎年町に図書カードを寄贈しています。



贈呈に訪れた大友組合長(左から 3 人目)ら

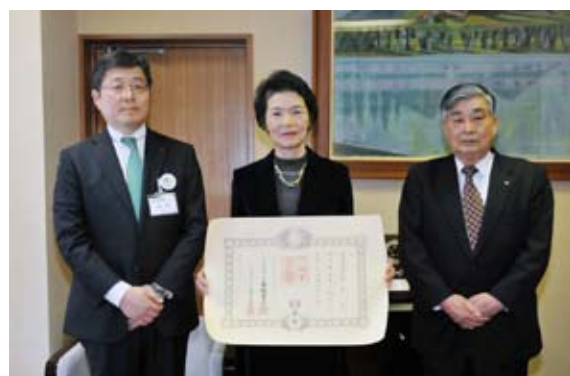
皆さんと作った広報が入賞

広報猪苗代が県コンで佳作を受賞

第 60 回福島県市町村広報コンクール(県・県広報協会主催)において、広報猪苗代が広報紙・町村の部で佳作を受賞しました。表彰式は 2 月 20 日、県庁で行われました。佳作となったのは、特集「おもてなしの輪」を掲載した 12 月号です。受賞できたのはいつも快く取材に応じてくださる町民の皆さんのおかげです。本当にありがとうございます。今後も皆さんを応援するまちの応援マガジンとして頑張っていきますので、よろしくお願いします。



広報紙の部で佳作を受賞した 12 月号



伝達式に出席した由紀子さん(中央)

故渡部進さんに叙勲伝達

町議会議員としての功績に旭日単光章

元町議会副議長の故渡部進さんへの叙勲伝達式は 1 月 30 日、町役場で行われました。伝達式では、須藤浩光県会津地方振興局長が渡部さんの長男隆雄さんの妻由紀子さんに旭日単光章の勲記と勲章を手渡しました。由紀子さんは「父も大変喜んで思う。仏前に供えて報告したい」と話しました。渡部さんは昭和 51 年から平成 4 年まで 4 期 16 年にわたり町議会議員として町政伸展に尽力。昭和 63 年からは 4 年間副議長を務めました。

町に合った子育て支援を考える

町子ども・子育て会議が発足

国が 27 年度に導入予定の「子ども・子育て支援新制度」を見据え、町の事業計画策定に関し、意見を具申するための「町子ども・子育て会議」の第 1 回目の会議が 2 月 24 日、町役場で開かれ、委員に委嘱状が交付されました。今後は、26 年度中の事業計画策定を目指し、幼児期の教育・保育や、子育て支援事業などについて審議します。委員は子育て中の保護者や教育、保育、子育て支援等に関わる町民の代表など、17 人で構成しています。



前後町長(左)から委嘱状を受ける委員

冬山遭難の救助技術を学ぶ

猪苗代地区山岳遭難対策協議会が救助訓練

町山岳会、警察署や消防署などで組織する猪苗代地区山岳遭難対策協議会は 1 月 29 日、猪苗代スキー場で冬山遭難救助訓練を実施し、万一の事故に備えました。訓練には、同協議会の会員約 30 人が参加。雪崩に巻き込まれた人の捜索、救助訓練やスノーシューを履いての歩行訓練などに取り組みました。参加者らは、救助技術や知識の向上のため、真剣な表情で訓練に取り組み、冬山の遭難事故防止に向けて決意を新たにしました。



雪に埋まった人の救助訓練に取り組む参加者

大雪に負けず熱いレースを展開

磐梯南ヶ丘牧場で雪上 M T B レース

マウンテンバイクの雪上耐久レース「冬のジン」は 2 月 16 日、磐梯南ヶ丘牧場で開かれました。ジンギス友の会の主催で、初の開催。約 20 人の選手たちが 1 時間の周回数を競いました。大雪の影響でエントリーの約 4 分の 3 が参加できなくなったため、翌週にもレースを開催。第 1 回目のレースに参加した藤拓也さんは「雪が軽く、きれいに圧雪されていてとても走りやすかった。東京から 19 時間かけて来たかいがありました」と話しました。



降りしきる雪の中、力走する選手たち